まちづくりを楽しむ基礎講座

説明会

NPO市民まちづくり会議・むさしの　2019/07/27

▶講座開催趣旨

- まちづくりに関心を持ってもらいたい。
- 主体的に、まちづくりに取り組んでもらいたい。

- 都市計画マスタープランが市民生活にどのように関係しているのかを理解し、武蔵野市が行う改定に、ハートは熱く、頭脳はクールに参加するチカラを養う。

▶実施概要

主催	特定非営利活動法人　市民まちづくり会議・むさしの
後援	武蔵野市
内容	まちづくり会議の主要メンバーがそれぞれ講座を設け、受講者を一般募集して実施する。
講座テーマ	講座を設けるメンバーが自由に設定。ただし、次の要件を満たす。 ・武蔵野市のまちづくりに関連付ける。 ・ウォッチングを1回設ける。
応募要件	・武蔵野市在住、在勤、在学者 ・各コース、なるべく全回数出られる人
参加費	各コース、1回500円程度の実費相当

▶コース（担当）

- ものづくりとまちづくり（塩澤）
- 公共空間の活用によるまちづくり（篠原）
- 子どもとまちづくり（高田）
- 景観と観光とまちづくり（南）
- まちの設備とまちづくり（村井）
- 古民家とまちづくり（山田）

▶参加方法

- **各講座は、資料の準備等の関係からいずれも事前申し込み制です。**
- **各講座の予定は、「まちづくりを楽しむ基礎講座」のフェイスブックページで告知します。次のいずれかの方法で申し込みください。**
  - ① フェイスブックページの「参加予定」ボタンを押してください。
  - ② フェイスブックページのMessengerから、参加希望の旨を送信してください。
  - ③ 当会ウェブサイトの問い合わせフォームから、必要事項を記入の上、お問い合わせ内容記入欄に、講座名、参加希望と記入して送信してください。
  - ④ この場で直接申し込んでください。

▶フェイスブックページ

•https://www.facebook.com/matikouzamusashino/

▶ウェブサイト問い合わせフォーム

http://matimati.or.jp/contact

▶塩澤コース

- **テーマ「ものづくりとまちづくり」**
- **講師｜ 塩澤誠一郎（当会元事務局長）**
- **協力｜ まちなか農家プロジェクト**
  北口デザイン

◆生活に身近な場所で、ものづくりできる環境があることが、これからの市民生活にとって大切なことではないかという認識から、市内で何かをつくる営み（製造業、農業、コンテンツ産業など）に着目して、それが成立する事業環境、立地特性、地域住民との関係などに理解を深めた上で、ものづくりとまちづくりを掛け合わせたプロジェクトを企画します。

▶ものづくりとまちづくり

回数	日時	場所	内容（講師）
第1回 座学	7月27日（土） 15:00～17:00	武蔵野プレイス ３階スペースE	「ものづくり×まちづくりの基礎」（塩澤） ・都市計画マスタープランとは？ ・都市計画とものづくりの関係
第2回 フィールドワーク	7月28日（日） 11:00～12:00	田中農園	「農家さんに野菜づくりについて伺う」 講師｜田中農園　田中　茂さん
	7月30日（火） 9:00～11:00	雄島試作研究所	「工場でモノづくりを学ぶ」 講師｜株式会社　雄島試作研究所 代表取締役　野田一房さん
	8月1日（木） 18:00～19:00	Production I.G	「アニメ製作を学ぶ」 講師｜株式会社プロダクション・アイジー 上田陽子さん
第3回 ワークショップ	8月17日（土） 13:30～16:00	消費生活センター 講座室	「ものづくり×まちづくりのプロジェクトを企画する」 講師｜まちなか農家プロジェクト　主宰 苔口昭一さん

▶篠原コース

- **テーマ「公共空間の活用によるまちづくり」**
- **講師｜　篠原二三夫（当会代表）**
  - ◆欧米では広場や公園、道路、駐車場、水辺、公共施設、留保地などの公共空間を活用して賑わいづくりや交流の場づくりが盛んに行われています。
  - ◆武蔵野市における未利用、低利用な公共空間を探し、地域のために活用できないかを考えます。
  - ◆１回目（座学）：欧米の公共空間の活用状況
  - ◆２回目（ウォッチング）：武蔵野市の公共空間を歩く
  - ◆３回目（ワークショップ）：具体的にどのように利用できるのか、期待できる効果、実施課題などを公共空間毎にグループで議論し、簡単な企画にし、参加者の武蔵野市の協力を得て実現に向けた活動に着手する。
  - ◆各回90分程度。

▶公共空間の活用によるまちづくり

回数	日時	場所	内容
第1回	9月1日（日） 午前10～12時	消費生活センター講座室 予定	欧米の公共空間の活用状況、主にイタリアの事例を中心に報告。併せて、日本の公共空間活用の現状を知る。
第2回	9月7日（土） 午前10～12時	武蔵境駅 南口集合予定	武蔵野プレイス前の公園（広場）の活用状況、武蔵境・三鷹・吉祥寺各駅前空間の利用状況などを視察し、吉祥寺の消費生活センター講座室にて意見交換。
第3回	9月20日（金） 午後7～9時	消費生活センター講座室 予定	1、2回を踏まえて、参加者各自が、さらに活用可能な公共空間や施設の活用について、アイディアを出し合い、簡単なイベント企画を作成する。よい企画であれば、実現に向けた活動もスタートする。

▶高田コース

- **テーマ「子どもとまちづくり」**
- **講師｜高田典夫（当会副代表）**
- **協力｜日本建築家協会関東甲信越支部空間ワークショップフォーラム・武蔵野市立桜野小学校**
  - ◆自分の住んでいる街に関心を持つことからまちづくりは始まります。そのきっかけづくりとして続けている「空間ワークショップ」を題材にして、子どもたちを通してまちづくりを考えてみたいと思います。

▶子どもとまちづくり

回数	日時	場所	内容（講師）
第1回	11月30日（土） 10:00～12:00	未定	空間ワークショップとは･･･ スライド･レクチャー＋意見交換
第2回	12月7日（土） 9:30～12:00	武蔵野市立桜野小学校	空間ワークショップを体験してみよう！ このワークショップの中で子どもたちは何を得るのだろう･･･子どもたちの様子をじっくりと観察してください。
第3回	12月14日（土） 13:00～15:00	未定	空間ワークショップを体験して、どのような活用法があるかについてアイデアを出しあい、意見交換を行う。

▶南コース

テーマ：美しく魅力ある景観整備の手法

講　師：南　賢二（当会副代表）　協　力：なし

◆道路や公共施設、上下水道といった都市の物的基盤が整うと、まちづくりは質の向上に向かい環境や景観の向上が課題となります。本講座では、すでに都市基盤が一通り整った武蔵野市において、美しく魅力ある街の景観をどのように形成していくかについて、実態を踏まえながら皆さんと学んでいきます。

テーマ：観光の役割と観光まちづくりの手法

講　師：南　賢二（当会副代表）　協　力：なし

◆市外から多くの人々が訪れる吉祥寺を有する武蔵野市は、まちなか観光では先進性を持つ活気のある都市ですが、市民の特に高齢者にとっては必ずしも心地よく快適なまちとは言えない側面も有しています。多くの人々が訪れる魅力あるまちづくりと市民にとって心地よく快適なまちづくりをどのように推進すべきかについて、観光の役割という原点から参加者の皆さんと共に考えてみます。

第４回　美しく魅力ある景観整備の手法

回数	日時	場所	内容
第１回	11 月 10 日(日) 10:00～12:00	消費生活センター	景観整備の考え方とその推進手法について
第２回	11 月 16 日(土) 10:00～12:00	吉祥寺駅周辺と消費生活センター	吉祥寺の商業地域と住宅地における景観の現状と課題の把握
第３回	11 月 24 日(日) 10:00~12:00	消費生活センター	美しく魅力あるまちの実現方策とその課題に関する意見交換

第６回　観光の役割と観光まちづくりの手法

回数	日時	場所	内容
第１回	1 月 11 日(土) 10:00～12:00	消費生活センター	観光の役割と観光まちづくりの手法の講習
第２回	1 月 18 日(土) 10:00～12:00	吉祥寺駅周辺と消費生活センター	吉祥寺駅周辺地域における観光資源と観光基盤の実態調査
第３回	1 月 25 日(土) 10:00~12:00	消費生活センター	武蔵野市における観光まちづくりの推進手法に関する意見交換

▶村井コース

- **テーマ「まちの設備とまちづくり」**
- **講師｜村井 寿夫（当会副代表）**
- **協力｜市役所関係部署（交渉中）**

◆電気、通信、水道、ガス、下水道は、生活に欠かせない生命線。主に道路の空中や地下を占用しています。これらの設備は実際どのように整備されているのか、街路樹との関係はどのようになっているのか？景観やみどり環境の改善に向けて「まちの設備」を考えましょう。

▶まちの設備とまちづくり

回数	日時	場所	内容（講師）
第1回	○月○日（○） ○:00～○:00	未定	インフラストラクチャーとは？ 街路樹とライフラインの現状
第2回	○月○日（○） ○:00～○:00	武蔵野中央公園～成蹊学園	雨水貯留施設、電線の地下埋設景観、街路樹の現況などをうぉっ
第3回	○月○日（○） ○:00～○:00	未定	ライフラインの保全とまちの緑の今後

▶山田コース

- **テーマ「古民家とまちづくり」**
- **講師｜山田　朗（当会副代表）**
- **協力｜全国古民家再生協議会**

◆古民家と聞くと郊外や農村部と思うが、未だ未だ市街地にも残っている。近年ではインバウンド効果もあって海外から日本の伝統文化に触れられる建築として注目が集まっている。このコースでは市街地の古民家再生事例を勉強しながらまちづくりの手法を研究する。

▶古民家とまちづくり

回数	日時	場所	内容（講師）
第1回	○月○日（○） ○:00～○:00	未定	古民家からKOMINKAへ 近年の古民家再生事例
第2回	○月○日（○） ○:00～○:00	未定	市街地の古民家事例を見てみよう
第3回	○月○日（○） ○:00～○:00	未定	次世代へ日本の伝統文化を繋げる手法を考えよう

おたのしみください

NPO 市民まちづくり会議・むさしの MUSASHINO